

和らぎ 88

YAWARAGI

2022 NO.86



令和4年7月20日
社会福祉法人 和光会

〒431-1101 浜松市西区和光町 517

TEL (053)486-2804

FAX (053)486-0149

<http://www.wakoukai-net.com/>

児童養護施設 わこう

児童養護施設「和光寮」は建物の大規模修繕を行うに伴い、名称を「わこう」へ変更施設理念の見直しも行い新たな出発を切りました。

社会的養護とは

「社会的養護とは、保護者のない児童や、保護者に監護させることが適当でない児童を、公的責任で社会的に養育し、保護するとともに、養育に大きな困難を抱える家庭への支援を行うことです。社会的養護は、『子どもの最善の利益のために』と『社会全体で子どもを育む』を理念として行われています。」（厚生労働省ホームページより）

児童養護施設の役割

社会には、様々な理由により、保護者がいなかったり、保護者の適切な養育を受けられなかったりする子どもたちがいます。厚生労働省の統計では、こうした子どもたちは、全国では42,000人に上るとされています。そのうち、約34,000人の子どもたちが、乳児院、児童養護施設、児童自立支援施設、児童心理治療施設などという、いわゆる「施設」で生活をしているのです。私ども「児童養護施設」では、このような子どもたちのうち、2歳から18歳の子どもたちを、保護・養育するとともに、家庭の支援をすることが大きな役割となっています。

家庭的な環境の実現に向けて

平成28年に戦後初となる児童福祉法の理念が改正され、「児童の権利に関する条約」の精神に則り、「子どもの最善の利益」「子どもの権利擁護」が基本理念とされました。そして、子どもたちは「**家庭の中で養育**されなければならない」（家庭養育優先の原則）ということが条文中に明記されました。しかしながら、家庭において養育されることが困難な状況である社会的養護の子どもたちには、家庭の代替的な環境として、里親やファミリーホームなど「**家庭と同様の環境**」で養育されることが望まれるのです。ただ、いろいろな理由から、それらがかなわない子どもたちの多くは、やはり施設で暮らすことになるのです。

これまでの「施設」は、大食堂に大浴場、大きなプレイルームに4人部屋、が当たり前の生活環境でした。このような中、「児童養護施設和光寮」は、「集団養育から個別支援へ」「合宿生活から家庭生活へ」を合言葉に、平成30年12月、「**家庭的な環境**の中で子どもたちの**養育**をしよう」と決断したのです。

令和2年10月から令和4年3月まで実に2年度にまたがる文字通り「大規模修繕工事」を実施しました。国や浜松市からの補助金をいただきましたが、それでは足りず福祉医療機構より約1億8,000万円の借入れをいたしました。工事中は、コロナ禍やウッドショック、半導体ショックなどに相次いで見舞われましたが、中村建設(株)様はじめとする関係者の皆様のご尽力により、なんとか無事工事を完了することができました。これには、本当に「感謝」の二文字しかありません。

Philosophy

未来につながる今
自らつくりあげる
ぼくたちわたしたちの暮らし



工事の完了に伴い、令和4年4月から定員を66人から36人に変更になりました。現在は、4歳から21歳までの子どもたち32人が、5つのユニット(6人定員×5ユニット)と一軒の地域小規模施設(6人定員)に分かれて暮らしています。それぞれのユニットは、玄関、居間、ダイニングキッチン、ユニットバス、洗面所、トイレ、居室(1人部屋と2人部屋)など家庭的なしつらえが整っています。

施設の名称も「寮生活から家庭生活へ」というメインコンセプトを反映させ、「和光寮」から「わこう」へと変更いたしました。

施設の運営理念の見直しもしました。大切にしたい思いやイメージを言葉にするための全職員アンケートを実施し、わたしたちの理念を紡ぎ出しました。

新しい生活のはじまり

子どもたちと職員は、家族の一員としての役割を持ちながら協働して、起床から食事、登園・登校、入浴、余暇活動、就寝まで、それぞれのユニットの暮らしを営んでいます。職員も子どもたちもまだまだ戸惑いながらですが、少しずつ、しかし確実に、「家庭的な時間」が流れ始めました。

ユニットでの暮らしの様子

ユニット生活になってから、誰かが帰ってくれば「ただいま」「おかえり」が自然と聞こえるようになりました。小学生や高校生、時には職員も一緒になってテレビやゲームを楽しむ時間も増えました。いつかここを旅立つ子どもたちが「あの時楽しかったなあ」と想い起こせることを願いながら、これまで以上に子どもたちと一緒に過ごす日常の大切さをかみしめています。

A ユニットグループリーダー 山下真奈



私が入社した当時は、大勢の子どもたちを相手に、毎日時間に追われていて、子どもたちと『ともに暮らす』という言葉とは、とてもかけ離れていた気がします。ユニット化した今、子どもの気持ちが出しやすくなったのか、子どもたち一人ひとりの豊かな個性に気付かされます。子どもたちが、いつでも『ただいま』と笑顔で帰ってこられるよう、私たちは変わらないで待っていてあげたいと思います。

B ユニットグループリーダー 村上優



C ユニットでは、職員と一緒に何かをやるということを大切にしています。夕ご飯のお手伝いしてくれる子ども、季節の野菜の栽培に取り組んでいる子ども、お掃除を手伝ってくれる子ども、etc. いろいろなところで子どもたちも役割を持ち、暮らしを支えています。子どもたちの自主性を大切に、子どもも、そして大人も一緒に成長していくことが出来る、そんな家庭を目指して生活しています。

C ユニットグループリーダー 小口哲司

D ユニットでは、小学生から中学生の男子4人が暮らしています。少人数での生活となったことで以前より一人ひとりの子どもたちと会話をする時間が増えました。進路や勉強、友人関係、遊びと、子どもたちの悩みや思いはそれぞれです。子どもの思いを聞いたり職員の考えを伝えたりと、子どもたちと共に考え悩み、お互いに成長していけたらと思っています。

D ユニットグループリーダー 笠原徹





Eユニットは中高生の子どもたちが生活しています。部活動やアルバイトをしている子も多く、全員と一緒に過ごす時間は多くありませんが、時折ゲームなどで盛り上がっています。ユニットでの様々な生活経験が、子どもたちの巣立ちを支えてくれることを願いながらサポートをしています。

Eユニットグループリーダー 伊藤大夢

平成30年8月より早出町の住宅街の一軒家で、わたしたちの暮らしがスタートしました。毎日の食事作りやお掃除など皆で知恵を出し合いながら〈わたしたちの暮らし〉を創り続けてきました。『地域との繋がり』『職員のチームワーク』『子どもたちの声に耳を傾ける』『一人ひとりに合った支援』を心掛けています。ここでの経験が今後巣立っていく子どもたちの生きる力になることを願っています。

早出わここの家管理者 金子美紀



食事作り 興味のある子は手伝ってくれます



自分の部屋・学習机で宿題に取り組みます

ユニットでの暮らしの様子



創作活動にも存分に取り組みます

まだまだ「家庭生活」を歩みだしたばかりで、職員も子どもたちも苦労の連続です。今後とも引き続き、地域の皆様、関係者の皆様のご支援を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

資金収支計算書

(自) 令和3年4月1日 (至) 令和4年3月31日

	勘定科目	予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)
事業活動による収支	収入			
	介護保険事業収入	728,823,000	734,128,146	△5,305,146
	児童福祉事業収入	471,129,000	474,664,416	△3,535,416
	保育事業収入	856,849,000	854,966,956	1,882,044
	就労支援事業収入	12,048,000	11,090,011	957,989
	障害福祉サービス等事業収入	171,093,000	171,306,764	△213,764
	公益事業収入	6,200,000	6,020,850	179,150
	収益事業収入	39,809,000	36,070,613	3,738,387
	経常経費寄附金収入	7,261,000	7,779,970	△518,970
	受取利息配当金収入	135,000	11,088	123,912
	その他の収入	39,288,000	35,337,714	3,950,286
	事業活動収入計(1)	2,332,635,000	2,331,376,528	1,258,472
	支出			
	人件費支出	1,574,181,000	1,546,934,239	27,246,761
	事業費支出	290,345,000	271,453,065	18,891,935
	事務費支出	235,202,000	216,614,418	18,587,582
	就労支援事業支出	24,382,000	23,534,753	847,247
	収益事業費用支出	19,865,000	19,722,390	142,610
	利用者負担軽減額	4,177,000	3,841,175	335,825
支払利息支出	13,222,000	13,155,519	66,481	
その他の支出	4,367,000	4,088,778	278,222	
事業活動支出計(2)	2,165,741,000	2,099,344,337	66,396,663	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	166,894,000	232,032,191	△65,138,191	
施設整備等による収支	収入			
	施設整備等補助金収入	257,735,000	257,887,640	△152,640
	設備資金借入金収入	125,230,000	125,300,000	△70,000
	施設整備等収入計(4)	382,965,000	383,187,640	△222,640
	支出			
	設備資金借入金元金償還支出	83,790,000	83,785,000	5,000
	固定資産取得支出	527,485,000	457,680,360	69,804,640
ファイナンス・リース債務の返済支出	4,630,000	4,629,570	430	
施設整備等支出計(5)	615,905,000	546,094,930	69,810,070	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△232,940,000	△162,907,290	△70,032,710	
その他の活動による収支	収入			
	積立資産取崩収入	147,829,000	57,511,017	90,317,983
	その他の活動収入計(7)	147,829,000	57,511,017	90,317,983
	支出			
	積立資産支出	139,465,000	122,489,710	16,975,290
	その他の活動による支出	620,000	591,788	28,212
	その他の活動支出計(8)	140,085,000	123,081,498	17,003,502
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	7,744,000	△65,570,481	73,314,481
	予備費支出(10)	4,633,000	0	4,633,000
	0			
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△62,935,000	3,554,420	△66,489,420	
前期末支払資金残高(12)	505,529,577	505,524,402	5,175	
当期末支払資金残高(11)+(12)	442,594,577	509,078,822	△66,484,245	

事業活動計算書

(自) 令和3年4月1日 (至) 令和4年3月31日

貸借対照表

(自) 令和3年4月1日 (至) 令和4年3月31日

		勘定科目	当年度決算(A)
サービス活動増減の部	収益	介護保険事業収益	734,128,146
		児童福祉事業収益	474,664,416
		保育事業収益	854,966,956
		就労支援事業収益	11,090,011
		障害福祉サービス等事業収益	171,306,764
		公益事業収益	6,020,850
		収益事業	36,070,613
		経常経費寄附金収益	7,779,970
		サービス活動収益計(1)	2,296,027,726
	費用	人件費	1,555,782,466
		事業費	271,453,065
		事務費	246,658,760
		就労支援事業費用	28,289,012
		収益事業費用	19,722,390
利用者負担軽減額	3,841,175		
減価償却費	171,876,190		
国庫補助金等特別積立金取崩額	△77,553,222		
サービス活動費用計(2)	2,220,069,836		
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	75,957,890		
サービス活動外増減の部	収益	受取利息配当金収益	11,088
		その他のサービス活動外収益	35,337,714
		サービス活動外収益計(4)	35,348,802
	費用	支払利息	13,155,519
		その他のサービス活動外費用	4,812,566
		サービス活動外費用計(5)	17,968,085
		サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	17,380,717
		経常増減差額(7)=(3)+(6)	93,338,607
		特別増減の部	収益
固定資産受贈額			
その他の特別収益	4,115,302		
特別収益計(8)	262,002,942		
費用	固定資産売却損・処分損		3
	国庫補助金等特別積立金取崩額(除却等)		
	国庫補助金等特別積立金積立額	286,757,389	
特別費用計(9)	286,757,392		
特別増減差額(10)=(8)-(9)	△24,754,450		
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	68,584,157		
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	1,000,587,114	
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	1,069,171,271	
	基本金取崩額(14)		
	その他の積立金取崩額(15)	48,000,000	
	その他の積立金積立額(16)	110,424,540	
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	1,006,746,731	

		資産の部	当年度末
		勘定科目	当年度末
		流動資産	959,674,281
		現金預金	324,642,390
		事業未収金	185,444,682
		未収金	134,344,559
		未収補助金	308,822,693
		貯蔵品	91,688
		仕掛品	146,362
		原材料	546,480
		立替金	871,376
		前払金	1,096,045
		前払費用	3,674,756
		徴収不能引当金	△6,750
		固定資産	4,377,426,620
		基本財産	3,505,857,077
		土地	409,679,352
		建物	3,096,177,725
		その他の固定資産	871,569,543
		土地	3,311,516
		建物	78,229,942
		構築物	98,420,136
		機械及び装置	2,600,010
		車輛運搬具	12,003,932
		器具及び備品	65,188,964
		建設仮勘定	
		有形リース資産	25,441,240
		権利	168,664
		ソフトウェア	3,945,974
		退職給付引当資産	34,711,998
		人件費積立資産	191,450,000
		施設設備整備等積立資産	133,730,768
		施設整備等積立資産	146,316,921
		差入保証金	1,200,000
		長期前払費用	67,402,761
		その他の固定資産	7,446,717
		資産の部合計	5,337,100,901
		負債の部	
		勘定科目	当年度末
		流動負債	626,886,579
		事業未払金	24,953,266
		その他の未払金	384,659,085
		1年以内返済予定設備資金借入金	84,605,000
		1年以内返済予定リース債務	5,158,560
		未払費用	34,180,885
		預り金	476,462
		職員預り金	5,639,669
		賞与引当金	87,213,652
		固定負債	1,375,083,678
		設備資金借入金	1,308,089,000
		長期運営資金借入金	12,000,000
		リース債務	20,282,680
		退職給付引当金	34,711,998
		負債の部合計	2,001,970,257
		純資産の部	
		勘定科目	当年度末
		基本金	75,300,168
		第一号基本金	75,300,168
		国庫補助金等特別積立金	1,781,586,056
		その他の積立金	471,497,689
		人件費積立金	191,450,000
		施設設備整備等積立金	133,730,768
		施設整備等積立金	146,316,921
		次期繰越活動増減差額	1,006,746,731
		(うち当期活動増減差額)	68,584,157
		純資産の部合計	3,335,130,644
		負債及び純資産の部合計	5,337,100,901

コロナ禍で急速に進むデジタルトランスフォーメーション。
和光会では会議や研修、面談などオンラインツールを利用しながら業務効率化に取り組んでいます。
今回は各施設の取り組み事例を一部ご紹介します。

業務効率化と ICT の活用



各施設、会議・面接・研修を ZOOM などを使用したオンラインに
移動時間の軽減と交通費の削減、感染症対策にもなります。

特別養護老人ホーム 朝霧の園 & 地域密着型介護老人福祉施設 なごみ

介護保険業務の支援ソフト「ほのほの」

主にケア記録や請求業務の ICT 化で、業務効率向上を大きくサポートしています。導入以前は手書きの紙媒体で記録してきたものを ICT 化したことで、記録媒体が整理され、記載時間も大幅に短縮しました。

短縮されて空いた時間は、利用者様との時間が増え、職員の休憩時間確保にもつながりました。さらには、現場でしか見られなかった記録が各部署で閲覧が可能になり、業務効率の向上と多職種連携が進み、ケアの質向上につながりました。

ソフト内にある「申し送り機能」や「業務連絡機能」を活用し、集合する形態のミーティングを中止しました。その時間を休憩時間にあてるなど、働きやすい職場環境に改善する結果になりました。

請求業務に関しては、支援ソフトを使用することで、正確性・効率性が格段に向上しました。



出退勤の管理をタブレットで管理
集計時間の削減や集計ミス回避 etc...



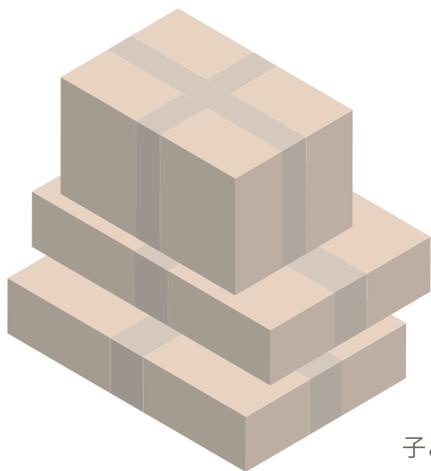
和光こども園・なごみこども園 駒沢・三軒茶屋わこう保育園

- ・各クラスにタブレットまたはPCを配置することで、計画や記録の入力が以前より効率的に出来るようになりました。
- ・以前は紙のおたより配布のみでしたが、SNSを利用した保護者への情報発信も実施しています。

わこうでは、各ユニットに児童が利用できるタブレットを設置することにより、調べ学習や趣味の世界を楽しむという、効率化以外のメリットも

福祉型障害児入所施設 あさぎり

あさぎりは児童が入所する施設ということもあり、児童の使用する物品の購入は職員が行います。
以前はお店に直接買いに行くことが多かったですが、インターネット通販を有効活用することで購入に際し商品の検討がしやすくなった他、職員が買い物に行く手間が減りました。



児童養護施設 わこう & 福祉型障害児入所施設 あさぎり

子どもたちが願っている寄付を Amazon [ほしい物リスト](#)を活用してHP内で公開しています。

児童養護施設 わこう HP



福祉型障害児入所施設
あさぎり HP



令和3年度 Special Thanks

森 真理様、劉揚様、福元 尚代様、(株)エリジオン様、イオン浜松西店様、浜松西モラロジー事務所様、(有)鳥栄商店様、タイガーマスク様、日管(株)様、浜友観光(株)様、手打そば築様、みずほ貸衣裳店様、みをつくし特別支援学校保護者様、大谷 公子様、津田 裕美様、今田 かず子様、田中 寅雄様、小林 胡桃様、(株)ジュビロ運営様、ジュビロ磐田 山田様・小川様、公益信託市川園社会福祉基金様、湖西商店様、浜松中ロータリークラブ様、長徳寺様、増田 滋様、加藤 かず子様、山本 迅悟様、アルバFC 浜名湖様、倉田農園様、内山 正子様、ちいさなおなべの会様、まるたま様、伊藤 真様、伊藤 雅樹様、江間 沙織様、岡 正義様、小池 美由紀様、坪井 美恵子様、宮津 輝雄様、山下 直宏様、山本 淳一様、田澤 浩一様、鈴木 久米男様、黄木 紀行様、松本 美由貴様、小桐 竹次郎様、石田 敏様、角勝 亜衣様、松本 恵子様、原田 尚宏様、金子 詩穂様、柴本 良昌様、古田 香澄様、鈴木 浄様、山田 綾様、河島 克紀様、又吉 ナオミ様、北村 夏樹様、辻村 岳様、丸山 晴久様、山里のサンタ様、レッグクリストファー様、たちばなや様、中野町元気食堂様、鈴木 克子様、(有)浜松ハイビジョンペットマート様、海味水産株式会社様、(有)宏和エンタープライズ様、宝珠院片桐 三之様、としのぶさん家の粉様、BNR(BOKENASU RANGER) 様、ドミノピザ様、柴田 哲宏様、浜松市西区更生保護女性会様、ジュピター三方原店様、アロハブルー様、(株)テックメイト様、(有)春華堂様、エイアンドエイ様、カーブス様、五社神社様、井伊谷宮様、アクセル自動車販売 宮津様、シャンメリー協会様、浜友観光(株)甲斐様、合同会社イーラ様、田部 道晴様 ヨガラバース川島様、浜松バイク乗り集まれ様、遠州髪友会様、ケンちゃんファンクラブ様、田部 朋子様 (株)ケージーケー様、山崎製パン(株)様、(株)フジヤマ藤山 義修様、(株)トレードトラスト宮澤 寛様、イチゴイニシアチブ静岡チーム・池島 麻三子様・野沢 真紀様・渡辺 純子様・海老江 みき様・大関 正行様・権田 道栄様、ブーランジェリーランプ様、静岡県トラック協会中遠支部事務局様、中日新聞社会事業団様、お日さまポケット入間 美恵子様、(株)マルマ 鈴木 雅太郎様、浜松部品 田中様、scene(株) 山本 進様、内山助産院様、浜名湖ボートレース協会様、浜松市労働者福祉協議会様、パワー浜松ロータリークラブ様、静岡ミナデツクル実行委員会 渡辺 理奈様・加藤 誠太郎様、丹羽 美穂様、アロハブルー永瀬様、(株)飯尾建築設計事務所様、静岡トヨタ自動車様、渡邊とき枝様



▲和光こども園

倉田農園様から、いちご狩りのご招待を頂きました。
約4キロの道のりをみんなで歩いて、山の上のハウスでいちご狩りを楽しみました。子どもたちは赤くて大きいものを選んで口いっぱい頬張り、楽しんでいました。

◀朝霧の園

静岡トヨタ自動車様より加湿器を頂きました。
ありがとうございます。

目 掲示板

令和4年2月1日～令和4年5月31日までに寄せられた苦情

◆あさぎり

近隣の方より、入所棟3階の窓が夜間に開いており、騒ぎ声や大きな物音がして眠れないと申し出がありました。謝罪をし、夕方には窓を閉めることをお伝えしてご理解をいただきました。

行事

◆三軒茶屋わこう保育園

7月23日(土) ほっと茶話

◆和光こども園

7月30日(土) 夏祭り(お楽しみ会)

11月5日(土) 生活発表会

◆駒沢わこう保育園

8月6日(土) 夏祭り

◆なごみこども園

8月6日(土) 夏祭り

10月8日(土) 運動会



編集後記

2022年夏、今年も「猛暑」に影響されそうです。2020年の浜松市の猛暑記録が記憶にまだ新しいところですが、「健康被害」「電力不足」など影響を考えると、早く秋が来ないかな、と現実から目をそらしてしまいそうです。コロナウイルスでも全世界に与える様々な影響は大きかったですが、ICT技術の向上、普及など、発展が一気に進んだものもあります。

ピンチの中からこれまでにないアイデアが生まれることもあるため、ただ「大変」に感じるのではなく、よりよい環境を作れるように、これまでと違う視点も取り入れながら取り組んでいきたいと思います。(朝霧フードラボ 川瀬)

幼保連携型認定こども園 / 小規模保育事業

◆和光こども園

浜松市西区和光町 517 TEL:053-486-0434

◆なごみこども園

浜松市北区三方原町 1367-1 TEL:053-420-7530

◆なごみ保育室(小規模)

浜松市北区三方原町 1364-5 TEL:053-525-9666

社会的養護・療育支援

◆児童養護施設 わこう

浜松市西区和光町 517 TEL:053-486-0141

◆地域小規模児童養護施設 早出わこうの家

浜松市中区早出町 1371-5 TEL:053-555-2557

◆福祉型障害児入所施設 あさぎり

浜松市西区舘山寺町 136 TEL:053-487-0229

◆児童発達支援事業 あさぎり

浜松市西区舘山寺町 136 TEL:053-487-6877

認可保育園(東京エリア)

◆駒沢わこう保育園

世田谷区駒沢 5-2-7 TEL:03-5760-6561

◆三軒茶屋わこう保育園(分園)

世田谷区三軒茶屋 2-52-13 TEL:03-3410-3715

高齢者福祉事業

◆特別養護老人ホーム 朝霧の園

浜松市西区庄和町 2476-1 TEL:053-487-2202

◆地域密着型介護老人福祉施設 なごみ

浜松市北区三方原町 1383-1 TEL:053-420-7531

障がい者福祉事業

◆共同生活援助事業 グループホームあさぎり

浜松市西区庄和町 2476-2 TEL:053-487-2122

◆就労継続支援 A型、B型

就労移行支援 朝霧フードラボ

浜松市西区志都呂 2-12-19 TEL:053-543-4110

◆相談支援事業所 あさぎり

浜松市西区志都呂 2-12-19 TEL:053-523-7610

収益事業

◆Ncafe

浜松市北区三方原町 1364-5 TEL:053-525-9677

◆志ノ蔵

浜松市中区千歳町 76-4 TEL:053-454-4096

社会福祉法人 和光会



地域密着型介護老人福祉施設

なごみ

将来の福祉人材の育成は、高齢化社会において急務です。なごみでは「コロナでも学びを止めない」という信念のもと、将来の人材育成に力を入れており、介護福祉士、社会福祉士を中心に、栄養士や看護師などの実習にも対応しています。また、コロナで受け入れが出来なくなった施設に代わり、行き場がなくなった学生さんを、私たち施設で積極的に受け入れています。

よりよい実習指導を行うために、実習指導者の研修を受けた職員を多く配置し、充実した実習を行って頂けるよう努めています。

また、実習生は普段多忙な業務の中で、見落としがちな「利用者の声」に気が付き、私たちも実習生から大きな気づきを頂いています。実習生の受け入れを通して、施設として実習生と共に成長していきたいと考えています。